



ロータリーは機会の扉を開く

RI会長:

ホルガー・クナーク (ドイツ)

国際ロータリー 第2500地区 第3分区

Asahikawa Morning Rotary Club

2020～21年度 第1260回 例会報告

例会日: 2020年07月16日(木) 時間: 7:30～8:30

例会場: アートホテル旭川 2F ザ・イーストルーム

ランクアップをしよう

2500地区ガバナー

松田 英郎 (富良野)

クラブ活動方針『未来に紡ぐ』 クラブ会長: 木村 和哉・幹事 坂本 信一

2500地区第3分区ガバナー補佐 竹内遵 様(旭川東北RC) 挨拶



皆様 おはようございます。

今期、第3分区のガバナー補佐をつとめさせていただき、旭川東北ロータリークラブの竹内でございます。今年度につきましては、恒例の新旧会長幹事会が開催できず、各クラブの会長幹事さんにお会いできない状況でしたので・・・木村会長、坂本幹事の新年度2回目の例会という、クラブとして大変あわただしい時期におじゃまさせていただき申し訳ありません。

私自身は、2006年に入会しておりますが、何分勉強不足の身ではございます、分区内のクラブの皆様からご指導、お力添えをいただきながら務めてまいりたいと思います。

なんとといっても、この年度は新型コロナウイルスの蔓延という経験したことのない状況下での活動スタートとなります。分区内の各クラブでは、例会の回数の見直し、WEB例会の導入、従来通り、とクラブそれぞれの考え方で新年度を迎えております。各クラブの奉仕活動も中止を余儀なくされていることが多いと思いますが、今後については、従来の活動も角度を変えて検討し、このような状況下であればこそ、何とか工夫して開催の方向性を探っていくことが大事なのか～っと、思っております。また、この機会のクラブの運営方法や例会の開催方法についても一歩突っ込んだ見直しができる良い機会になると思います。旭川モーニングロータリークラブでは回数の見直しやZOOMとの併用での開催も予定されているようで、独自性が出ていさすかだと思っております。

このような逆風の環境下での取り組みこそ、ホルガー・クナーク会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」そして松田英郎ガバナーのテーマ「ランクアップしましょう」につながると考えております。

また、木村会長の掲げる「未来へ紡ぐ」モーニングロータリーにつながるものと思います。今年度は地区、分区そしてクラブとしても不透明な部分がたくさんありますが、視点を変えれば様々なことにチャレンジできる良い機会だと考えて皆様とともに活動していけたらよいと思っております。1年間、どうぞ、よろしく願いいたします。

会長挨拶 木村和哉



おはようございます。最近の新型コロナウイルスですが、東京では7日間連続100名以上の感染が確認され、全国的にも少しずつ増えてきている状況にあります。そのような中、経済活動優先と舵を切った政府は、GOTOキャンペーンを前倒しました。このことについて皆さんはどのようにお考えになるでしょうか。

白鳳大学教授の岡田晴恵さんをはじめ多くの医師は、秋冬に大きな波が確実に来ると断言されています。それにそなえましょう。旭川では現在新規感染者はおりませんが、油断は出来ない状況になっています。だからこそ旭川で一人二人感染者が出た場合またはクラスターが発生した場合でもモーニングクラブ会長としては、ロータリーを止めないという目的使命のもと、「ZOOM 例会」も視野に入れて準備をしていきます。今年の12月から来年の3月くらいまでは、ひよっとすると「月に1、2回のZOOMによる例会」の可能性が高いと考えており備えて行きたいと思っております。

それに先立ちまして本日時間がありましたら坂本幹事による「ZOOM 講座」を行います。この新しい試みにご協力をお願いいたします。本日もよろしく願いいたします。以上です。

会務報告 幹事 坂本信一

1. ロータリー囲碁同好会 日本支部より、『第19回 ロータリー全国囲碁大会のご案内状』収受。
【日 時】2020年10月3日(土) 開会式 10時～ 【会 場】東京・市ヶ谷の日本棋院本院 1階対局室
【参加料】7,000円 *参加ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。
2. 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より、『ハイライトよねやま 244号』収受。



プログラム

今年度会計予算説明 会計 林 雅美

今年度のスタートにあたり 会計予算の説明を致します。

今年度は、会員数22名のスタートで 下期は25名に増員を見込んでいます。

例年と大きく違うところは コロナウイルス感染防止の観点から 前期12月までは、月の例会を半分の2回にし、会食を伴う例会を中止しているところです。例会日数やクラブフォーラム費用が少なくなった

ことで 会合費の予算は前年より100万円の縮小となっています。

また、委員会活動費も移動訪問例会の実施が見込めないなどの理由で削減しているため、ニコニコ BOX を含む、一般会計の予算は全体で約170万円の縮小になりました。

今年度は 一般会計とニコニコ BOX の他に、特別会計の通帳を作り、通帳は3冊で管理することになりました。特別会計の予算も今年度は記載されております。約734万円と多く残されていますので 将来の事業の計画を具体的に立てていき、透明性のある運営と、本来の奉仕の目的に沿って有意義に活用していかれることを望みます。

前期は少ない例会数で、会員間のコミュニケーションが難しい状況かもしれませんが、会長、幹事の熱意で ラインや zoom を皆で使うことも現実となりました。この特異な状況でも協力し合い、チャレンジを重ねて、より素敵なモーニングにしていきたいと思います。

***クラブ協議会(ガバナー公式訪問について) 木村和哉会長 8/6 (木) 18:30 からアートホテル 3階にて夜間通常例会に参加されます。その 30 分前に会長幹事懇親会があります。**

今回は、クラブ協議会はありません。その他、皆様からご質問があればお願いいたします。



ニコニコ BOX * 7/16 分

ニコニコを紹介する谷地元憲次親睦委員

竹内遵(東北 RC) : おはようございます。新年度 2 回目のあわただしいなか、おじゃまさせていただきます。今年度、よろしくお願ひいたします。

会長木村和哉 : 竹内ガバナー補佐本日はモーニングへお越し頂き有り難うございます。よろしくお願ひします。

坂本信一 : 竹内ガバナーようこそお越しいただきました。よろしくお願ひいたします。

飛弾野正幸 ; 7 月 3 日 78 才になりお祝ひ有り難う五島さす。1 年間元気に頑張ります。

竹澤元男 : 本日は、東北のガバナー補佐竹内さんが来られました。今後ともに宜しくお願ひします。

竹村陽子 : 竹内ガバナー補佐今年 1 年よろしくお願ひいたします。コロナが納まるとよろしいですね。

石川千賀男 : 竹内ガバナー補佐をお迎えして、一年間頑張ってください。

竹村陽一 : 竹内ガバナー補佐、ようこそーらっしゃいました今年一年どうぞよろしくお願ひいたします。

ニコニコ 20,000 円 52,000 円

伝達事項

高見一典会員 : 木村会長から新型コロナ感染症についてのお話がありましたが、旭川市の状況について少しお話しします。旭川市におきましては2月22日に市民一名が初感染確認され、その後4月17日に陽性者が確認された以降は幸いにも発生拡大していませんが、(感染者数計16人 内再陽性者2名含む)国内においては現時点で新型コロナウイルス感染症は終息しておらず、第2波の蔓延も危惧され、予断を許さない状況は変わっていません。尚、行政としては今月22日に第4回臨時会を予定しており、これまでに市独自のコロナ対策も含め力を傾注していることをご理解願ひします。

本日の例会食(和食)



* 旭川モーニングRC 出席報告 *

- * 本日の出席 第 1260 回 例会 総員 22 名 出席 20 名
出席率 90.91%
- * 修正出席 第 1256 回 例会 総員 23 名
6 月 11 日分 出席 20 名 出席率 86.96%
- * 修正出席 第 1257 回 例会 総員 23 名
6 月 18 日分 出席 19 名 出席率 82.61%
- * ビジター 竹内 遵 第3分区ガバナー補佐 (旭川東北 RC)
- * ゲスト ございません
- * メークアップ 7/15 安井裕子・竹村陽一(旭川北 RC)

本日のプログラム外の「ZOOM 講座」ZOOMの活用について 坂本 信一

まだまだ、コロナ禍の終息の見えない中、第二波、第三波にて例会が開催出来ない場合に備えて、例会での ZOOM の導入を進めていきたいと思ひます。いっぺんには出来るようになるには大変なので、何回かに分けて皆さんと一緒に ZOOM の使いかたを勉強していきたいと思ひます。先ずは、携帯電話から始めたいと思ひますが、最初に簡単に皆さんと繋がる方法が必要になりますのでラインアプリを携帯に入れて頂きライン一つで皆さんと情報交換が出来るようにシステムを組んでいきたいと思ひますので、ラインアプリの入ってない方にお一人お一人にアプリをインストールして行きますのでご協力をお願い致します。ラインアプリを入れて頂いたらZOOM以外でもこれからMRCとして連絡が取りやすくなりますので便利になると思ひます。

*坂本幹事や飯塚 SAA により ZOOM・LINE を粗全員が利用出来る様になった。飯塚 SAA により ZOOM・LINE 教室を開催会員皆真剣に、また楽しみながら取り組んでいる姿が素晴らしい。